

業 種 / 金融業・保険業
 主な事業内容 / 生命保険業
 従業員数 / 42,950人

災害時の役割に応じてチーム・班を設置。定期的な訓練で役割の実効性を検証

「宿泊対策班」「帰宅対策班」等、災害時の役割に応じてチーム・班を組成して要員を年度ごとに任命。毎年、各チーム・班メンバーによる「ウォークスルー訓練」・「実働訓練」等を反復して実施。各訓練については、年度の上期までに実施し、下期以降は訓練を通じて認識した課題への対応を高度化するPDCAサイクルを推進し、各チーム・班の役割や行動の実効性を検証している。



過去に行われた「災害対策総合訓練(実働訓練)」時の帰宅対策班・宿泊対策班の訓練の様子。

<ウォークスルー訓練>

災害時の手順書・チェックリスト等を使用し、各チーム・班の役割や災害時の行動・手順などを机上で確認する訓練

■ 宿泊対策班

宿泊することになる従業員に対し、社内での宿泊場所の指定、必要な物資(水・食料・毛布)を支給



■ 帰宅対策班

帰宅のための安全が確認できた際、帰宅支援対象道路をはじめとした交通インフラの運行・利用可能状況の情報を従業員へ提供



拠点ごとの立地リスクに応じた初期行動確認・訓練を実施

近年、自然災害が頻発していることから、グループ会社を含む全拠点(約1500カ所)の立地リスク評価(地震・津波・洪水・土砂災害等)を実施している。各拠点に対してリスク評価の結果を開示し、「リスクに応じた安全確保のための初期行動の確認や訓練」により、自拠点の立地リスクを認識し、災害発生時に迅速かつ、明確に判断・対応する態勢を整備している。特に、津波避難訓練では、移動ルートや避難場所を確認し、地域のハザードマップ等を参考にしながら、必要に応じてルートや避難場所の見直しを行なうとともに、危険度の高い拠点に対しては、毎年、本社災害対策要員による出張防災教育も行なっている。

拠点リスクレポート(サンプル)



津波避難訓練の様子

